

レール締結装置の性能照査に用いる荷重条件の算定法に関する研究

弟子丸, 将

<https://doi.org/10.15017/2534435>

出版情報 : Kyushu University, 2019, 博士 (工学), 課程博士
バージョン :
権利関係 :

氏 名	弟 子 丸 将			
論 文 名	レール締結装置の性能照査に用いる荷重条件の算定法に関する研究			
論文調査委員	主 査	九州大学	教授	園 田 佳 巨
	副 査	九州大学	教授	松 田 泰 治
	副 査	九州大学	准教授	大 枝 良 直

論 文 審 査 の 結 果 の 要 旨

本論文は鉄道のレール締結装置の疲労照査に用いる荷重条件の算定法について検討したもので、任意の軌道支持状態に適用可能なレール小返り解析モデルを考案し、レール圧力に軌道支持状態が与える影響を定量的に把握できる手法を提案しており、構造工学および鉄道工学上寄与するところが大きい。よって、本論文は博士（工学）の学位論文に値するものと認める。